

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 障がい者スポーツ大会開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111(内3482)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,181 千円 (前年度予算額：5,181 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,181	2,590	0	0	0	0	0	0	2,591
要求額	5,181	2,590	0	0	0	0	0	0	2,591
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

障がい者の社会参加の推進とスポーツ振興を目指し、身体障がい、知的障がい、精神障がいの3障がいを対象とした岐阜県パラスポーツ大会（秋大会）を開催する。また、スポーツに関する技術等の習得を希望する方を対象に、パラスポーツ教室を開催するとともに、裾野拡大の取組みを支える障がい者スポーツ指導員養成を進める必要がある。

(2) 事業内容

①岐阜県パラスポーツ大会の開催

<秋大会（ドリームスポーツ大会）>

陸上、フライングディスク、大玉転がし、綱引き、玉入れ、ふれあいラリー

※障がいの程度にかかわらず、全ての身体障がい・知的障がい、精神障がい者が参加できるレクリエーション中心の大会

②パラスポーツ教室の開催

開催競技及び地域を限定せず、希望に応じて県内各所を巡回して行う。

③障がい者スポーツ指導員養成事業

障がい者スポーツの裾野拡大を支える人材の育成、活用のため、初級障がい者スポーツ指導員の養成講習会を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫 1/2 県費1/2 【地域生活支援事業】

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細	
委託料	5,181	パラスポーツ大会（秋大会）	1,433千円
		障がい者スポーツ指導員養成	366千円
		パラスポーツ教室	1,830千円
		人件費	1,552千円
合計	5,181		

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

清流の国ぎふスポーツ推進計画において、より多くの方が参加していただけるパラスポーツ大会の実施に関して記載。

岐阜県障がい者総合支援プラン（スポーツによる障がい者の社会参加の促進）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

重度障がい者等、スポーツへの参加が困難な者であっても、スポーツの観戦、文化活動への参加等誰もが参加可能なイベントを開催する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H13)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①秋大会参加者数	0	中止	1,300	1,300	1,300	-
②実施教室数 (延)	0	19	39	39	39	48.7%
③参加者数 (延)	0	498	900	900	900	55.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） <秋大会（ドリームスポーツ大会）> 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止 <障がい者スポーツ教室> 全国障害者スポーツ大会競技種目を中心に、希望に応じて県内各地でスポーツ体験教室を実施した。（実施回数13回、参加者数 342人）
	指標① 目標：1,300 実績：中止 達成率：-%
	指標② 目標：20 実績：13 達成率：65%
	指標③ 目標：300 実績：342 達成率：114%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） <秋大会（ドリームスポーツ大会）> 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止 <障がい者スポーツ教室> 全国障害者スポーツ大会競技種目を中心に、希望に応じて県内各地でスポーツ体験教室を実施した。（実施回数19回、参加者数 498人）
	指標① 目標：1,300 実績：中止 達成率：-%
	指標② 目標：39 実績：19 達成率：48%
	指標③ 目標：900 実績：498 達成率：55%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	<p>各事業は次のような役割をもっており、それぞれ継続して運営を支持する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋大会：開会式典の内容を拡充するなど、障がいの有無に関わらず誰もが参加できるスポーツを中心としたイベントの開催 ・ スポーツ教室：県内全域でパラスポーツを普及し、障がい者の社会参加を推進する
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 1	<p>コロナ禍のため目標値には達していないものの、スポーツ教室は参加者数が昨年より増加しており、一定の成果はあがっている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	<p>例年実施している事業になるが、更なる効率化を図る。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ぎふ清流大会(第13回全国障害者スポーツ大会)」で高まった障がい者スポーツへの関心を一過性のものとせず、スポーツを行う者だけでなく、誰もが参加できるイベントを実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 障がい者の社会参加の推進及びスポーツ振興のために、継続的に実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	